

平成22年度キッズデザイン製品開発支援事業の概要

消費者庁・医療機関などに収集された事故情報をもとに、人間の特性・行動分析に強みを持つ研究者により原因究明等を行い、得られる科学的知見を企業や業界団体に提供することで、事故予防に配慮された安全・安心な製品開発や業界標準の作成を支援する。

また、製品の選択や使い方等に関して社会全体への効果的な情報提供等を行うことを通じて、安全安心設計のものづくりを産業界が積極的かつ持続的に推進していく体制の構築を目指すことを目的とする。

経済産業省

委託

(独)産業技術総合研究所

産業界や有識者の意見を取り入れながら各実施内容を具体化

外部有識者による委員会設置

事業推進委員会

企業ニーズ調査・成果普及検討委員会

キッズデザイン基本的事項検討委員会

事故情報収集等

■ 傷害情報の収集

国立成育医療研究センターなどと連携し事故情報や精密医療情報を収集。

■ 子どもの生体特性データ・行動特性計測

キッズデザイン製品の設計に有用なデータ等を整備。

事件事例分析等

■ 共創プロジェクトの公募

事故原因の究明や事故予防のための詳細評価や分析などの技術的課題を有する企業・業界団体等からプロジェクト案件を公募。

■ 解析技術等を用いた知識化

骨折や頭部外傷の再現とその予防法等の開発を行うためのシミュレーション技術等(有限要素法など)を開発し、データ整備や解析等を実施。傷害発生のメカニズム等の知見を科学的に体系化。

■ 経済的社会的効果や関連情報などの調査

キッズデザインに関連する規準・規格・ガイドラインや経済的社会的な効果等を評価分析するために必要な調査を実施。

情報の共有等

■ 企業・業界向け事故情報共有・検索システムの開発

分析・解析を行う研究者・企業の技術者間で事故情報を共有し、多分野で連携して問題解決を行うためのWEBシステム(e-Society)を構築。また、本サーバの事故情報を使用して、類似事故情報の検索が可能なサービスを実施。

■ 一般向け事故情報・対策情報共有システムの開発

一般の保護者などに事故情報を、各家庭の状況に合わせて適切に情報提供する先進的なWebサイトを構築。事故情報をアニメーションなどで分かり易く提供。

■ 一般向けの情報誌等の作成

シンポジウムやメンバーの講演会、取材等の内容を記事コンテンツとして作成し、冊子として発行。本コンテンツをホームページに掲載することで情報を発信。

■ キッズデザインの基本的事項の策定

子どもの事故予防に配慮された製品開発に必要な基本的事項を体系的に調査検討して、有識者の意見を踏まえてとりまとめる。

■ イベント等の開催

本事業の成果等を情報発信するため、イベント等を開催。

- ・研究者や企業関係者を対象にしたシンポジウム(5月、8月)。
- ・「KIDSクリエイティブTOKYO2010」での展示会(8月)。
- ・「第3回国際ユニヴァーサルデザイン会議2010in浜松」での展示会(10月)。